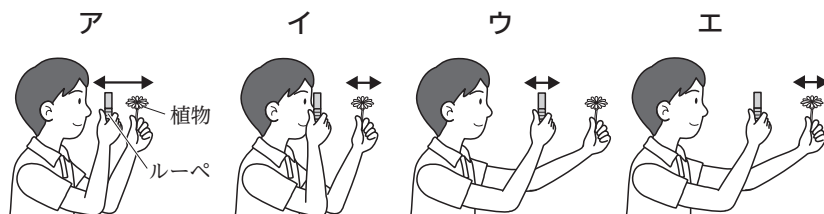


1

生物の観察となかま分け①

点

- 1 植物を手にとってルーペで観察するとき、ルーペの使い方として最も適切なものを次のア～エから1つ選べ。なお、矢印はルーペや植物を動かす方向を示している。



1 【10点】

--

- 2 身近な生物の観察を行った。次の各問いに答えなさい。

- (1) 右の図は観察カードである。①に入る適することばを書け。
 (2) ②には特徴が入る。適する言葉を書け。
 (3) 観察カードを作るとき、まちがっているものはどれか。記号で答えよ。
 ア 絵で表せないときは文章で書いてもよい。
 イ 絵はできるだけ図鑑の図に似せてかく。
 ウ 絵のかわりに写真をとって、はってもよい。

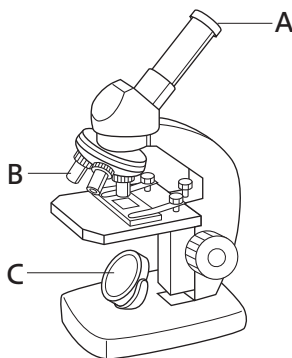
ナズナ	
観察者…	〇〇〇〇
観察した日…	4月15日 天気…くもり
①	…学校の花だんのそば
特徴	
②	…花の大きさは1cm程度 土からの高さは約50cm
色…	花弁の色は白色 茎や葉は緑色
	花弁は4枚ある
	めしべとおしべがある
	たねができています

2 3×10点【30点】

(1)	
(2)	
(3)	

- よくでる
3 右の図のような顕微鏡について、次の各問いに答えなさい。

- (1) 図のA～Cの部分、それぞれ何というか。
 (2) 次のア～オは、顕微鏡観察の操作の手順を表している。正しい順序になるように並べかえよ。
 ア 反射鏡としぼりを調節して視野全体を明るくする。
 イ プレパラートと対物レンズを離しながらピントを合わせる。
 ウ プレパラートをステージにのせる。
 エ 接眼レンズ、対物レンズをとりつける。
 オ プレパラートと対物レンズを近づける。
 (3) 顕微鏡で観察したものをスケッチしようと思う。次のア～ウのうち、スケッチのしかたで正しいのはどれか。
 ア 細い線ではっきりと、かげをつけながらかく。
 イ 視野のまるい線の中に、観察したものをかく。
 ウ りんかく線は重ねたり、ぬりつぶしたりしないでかく。
 (4) 接眼レンズの数字が「10×」、対物レンズの数字が「40」のときの倍率はいくらか。



3 6×10点【60点】

(1)	A	
	B	
	C	
(2)	→ → → →	
(3)		
(4)		

月

日 ()

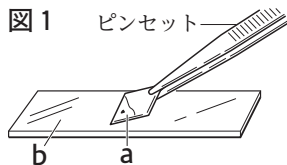
2

生物の観察となかま分け②

点

よくでる

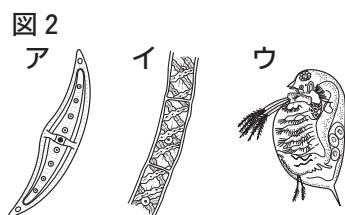
- 1 池の水を採取し、水中の小さな生物を顕微鏡で観察した。これについて、次の各問いに答えなさい。



- (1) 顕微鏡で観察するためにプレパラートをつくった。図1の2枚のガラスa, bの名称を答えよ。

- (2) aをかぶせるとき、注意しなければいけないことは何か。

- (3) 図2は観察した生物をスケッチしたものである。アとウの生物の名称をそれぞれ答えよ。



- (4) ア～ウの生物のうち、最も大きいものはどれか。記号で答えよ。

- (5) ゾウリムシを観察すると、図3のように見えた。視野の中心にもってくるには、プレパラートをどの方向に動かせばよいか。図4のA～クから選べ。

図3

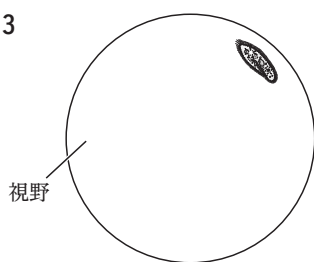
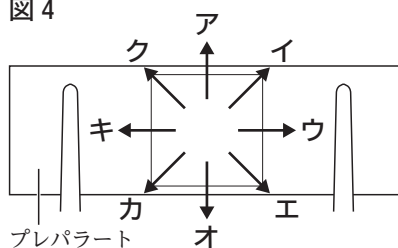


図4



7×8点【56点】

(1)	a	
	b	
(2)		
(3)	ア	
	ウ	
(4)		
(5)		

- 2 田中さんは下のいろいろな生物を、その特徴によって分類しようと思います。あとの各問いに答えなさい。

A			B		
クジラ	ハト	アリ	サクラ	スイレン	ドクダミ
チョウ	メダカ	イヌ	タンポポ	マツ	コケ

- (1) AとBは何によって分類したと考えられるか。「()生物と()生物」と答えよ。
- (2) Aのグループを水中で生活するものと、陸上で生活するものに分けよ。
- (3) Aのグループの生物を(2)とは違う特徴で2つにグループ分けしたい。どのような特徴をもとに分けるとよいか。分ける特徴の例と分けた生物名を書け。
- (4) Bのグループのうち、植物の高さが田中さんの身長(155cm)よりも大きくなるグループと、大きくなならないグループに分けた。大きくなならないグループにはいくつの植物が入るか。

2 4×11点, (2)は全部できて正答【44点】

(1)		
(2)	水中で生活	
	陸上で生活	
(3)		
(4)		

月

日 ()

理科中1

いろいろな生物とその共通点(1)

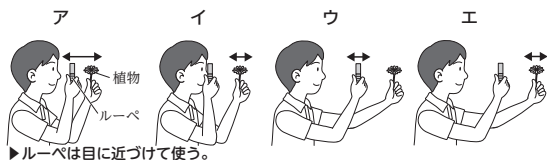
学習日 月 日

時間20分

1 生物の観察となかま分け①

点

- 1 植物を手にとってルーペで観察するとき、ルーペの使い方として最も適切なものを次のア～エから1つ選べ。なお、矢印はルーペや植物を動かす方向を示している。



▶ルーペは目に近づけて使う。

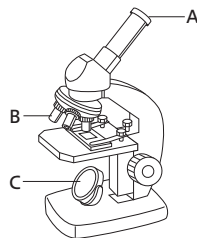
- 2 身近な生物の観察を行った。次の各問に答えなさい。

- (1) 右の図は観察カードである。①に入る適することばを書け。
 (2) ②には特徴が入る。適する言葉を書け。
 (3) 観察カードを作るとき、まちがっているものはどれか。記号で答えよ。
 ア 絵で表せないときは文章で書いてもよい。
 イ 絵はできるだけ図鑑の図に似せてかく。
 ウ 絵のかわりに写真をとって、はってもよい。

ナズナ	
観察者…○○○○	観察した日…4月15日 天気…くもり
①	…学校の花だんのそば
特徴	②
③	…花の大きさは1cm程度 土からの高さは約50cm
・色…花弁の色は白色	茎や葉は緑色
・花弁は4枚ある	めしべとおしべがある
・たねができている	

- よくて
3 右の図のような顕微鏡について、次の各問に答えなさい。

- (1) 図のA～Cの部分で、それぞれ何というか。
 ▶ステージ上下式顕微鏡。
 (2) 次のア～オは、顕微鏡観察の操作の手順を表している。正しい順序になるように並べかえよ。
 ア 反射鏡としばりを調節して視野全体を明るくする。
 イ プレパラートと対物レンズを離しながらピントを合わせる。
 ウ プレパラートをステージにのせる。
 エ 接眼レンズ、対物レンズをとりつける。
 オ プレパラートと対物レンズを近づける。



- (3) 顕微鏡で観察したものをスケッチしようと思う。次のア～ウのうち、スケッチのしかたで正しいのはどれか。
 ア 細い線ではっきりと、かげをつけながらかく。
 イ 視野のまるい線の中に、観察したものをかく。
 ウ りんかく線は重ねたり、ぬりつぶしたりしないでかく。
 (4) 接眼レンズの数字が「10×」、対物レンズの数字が「40」のときの倍率はいくらか。▶顕微鏡の倍率＝接眼レンズの倍率×対物レンズの倍率

- 1 [10点]

イ

- 2 3×10点[30点]

(1)	見つけた場所 (生態、生育していた場所)
(2)	大きさ(高さ)
(3)	イ

- 3 6×10点[60点]

A	接眼レンズ
(1) B	対物レンズ
C	反射鏡
(2)	エ→ア→ウ→オ→イ
(3)	ウ
(4)	400倍

▶[3]スケッチは細い線と小さな点でつくりかく。かげはつけない。

いろいろな生物とその共通点(1)

学習日 月 日

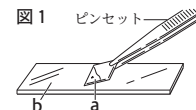
時間20分

2 生物の観察となかま分け②

点

よくて

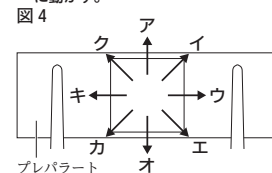
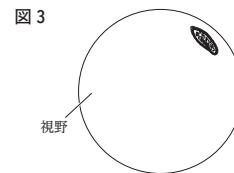
- 1 池の水を採取し、水中の小さな生物を顕微鏡で観察した。これについて、次の各問に答えなさい。



- (1) 顕微鏡で観察するためにプレパラートをつくった。図1の2枚のガラスa、bの名称を答えよ。▶カバーガラスは、はしからゆっくり下げる。
 (2) aをかぶせるとき、注意しなければいけないことは何か。
 (3) 図2は観察した生物をスケッチしたものである。アとウの生物の名称をそれぞれ答えよ。▶イはアオミドロ。



- (4) ア～ウの生物のうち、最も大きいものはどれか。記号で答えよ。
 (5) ゴウリムシを観察すると、図3のように見えた。視野の中心にもってこるには、プレパラートをどの方向に動かせばよいか。図4のア～クから選べ。
 ▶プレパラートは、動かした方向と逆に動かす。



- 2 田中さんは下のいろいろな生物を、その特徴によって分類しようと思います。あとの各問に答えなさい。

A			B		
クジラ	ハト	アリ	サクラ	スイレン	ドクダミ
チョウ	メダカ	イヌ	タンポポ	マツ	コケ

- (1) AとBは何によって分類したと考えられるか。「()生物と()生物」と答えよ。
 (2) Aのグループを水中で生活するものと、陸上で生活するものに分けよ。▶分類の観点を変えると、グループ分けはちがってくる。
 (3) Aのグループの生物を(2)とは違う特徴で2つにグループ分けしたい。どのような特徴をもとに分けるとよいか。分ける特徴の例と分けた生物名を書け。
 (4) Bのグループのうち、植物の高さが田中さんの身長(155cm)よりも大きくなるグループと、大きくならないグループに分けた。大きくならないグループにはいくつの植物が入るか。

- 1 7×8点[56点]

a	カバーガラス
(1) b	スライドガラス
(2)	気泡(空気)が入らないようにする。
ア	ミカヅキモ
(3) ウ	ミジンコ
(4)	ウ
(5)	イ

- 2 4×11点、[2]は全部できて正答[44点]

(1)	移動する(動く)生物と移動しない(動かない)生物	
(2)	水中で生活	クジラ, メダカ
	陸上で生活	ハト, アリ, チョウ, イヌ
(3)	(例) 昆虫かその他 昆虫…アリ, チョウ その他…クジラ, ハト, メダカ, イヌ	
	(例) 卵を産むか産まないか。 卵を産む…ハト, アリ, チョウ, メダカ 卵を産まない…クジラ, イヌ	
(4)	4つ	